



カスティージョ広場から望むウェスティンパレス マドリッド「The Westin Palace Madrid」の正面ファサード。国王アルフォンソ 13 世の命を受けて 1912 年にオープンしたマドリッド屈指の歴史的酒店である



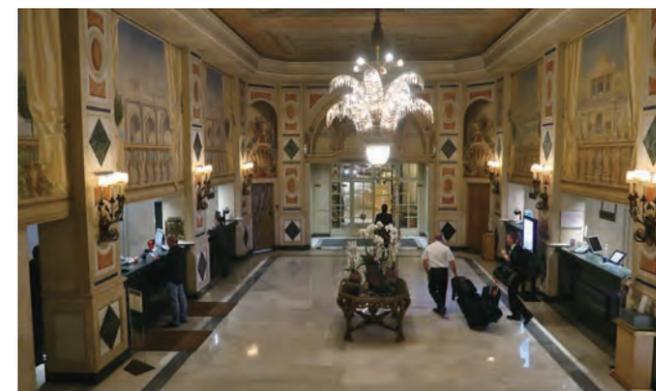
ウェスティンパレスで特筆されるのはロビーにあるステンドグラスの壮麗なドームであろう。有名なこの空間は、ドームの下に「楕円形」という意味のレストラン「La Rotonda Restaurant」を配置している



正面エントランスの壁面横に掲げられた開業年を示す「Palace Hotel 1912」のプレート



正面エントランスに立つ、にこやかなベルスタッフ



どことなくムーア調のアラビックな雰囲気が香るレセプションホール



下から見上げた壮麗なステンドグラスのドーム。トップライトの自然光が常時入り込むため、スペイン内戦時の軍病院時代、手術室として使用されていたという逸話が残されている



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974 年 Munich Re 入社。
2001 年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

Westin Palace Madrid

マドリッドには両横綱と言われる 2 軒のホテルがある。リッツマドリッド「Ritz Madrid」とパレスホテル「Palace Hotel」である。リッツマドリッドは現在マンダリンオリエンタルの傘下であり、去年初期より大規模なリノベーションに入り全館クローズしている。一方、パレスホテルはウェスティンの傘下であり、ウェスティンパレスマドリッド「The Westin Palace Madrid」の名称で営業している。ウェスティンパレスはリッツ、ブラド美術館、国会議事堂などの重要建物が取り囲むカスティージョ

広場の中央に威風堂々と佇んでいる。時の国王アルフォンソ 13 世の命を受けて 1912 年にオープンしたマドリッド屈指の歴史的酒店であり、創業当時は 800 室というヨーロッパ最大級のホテルでもあった。

ウェスティンパレスは 1911 年 3 月に建設が始まり、鉄筋コンクリートという当時の新しい素材で建てられた。グランドオープンは翌 12 年 10 月で、わずか 18 カ月の工事期間と 1500 万ペセタの費用で完成させた。創業時のパレスは、各客室にバスルームを備えたスペインで最初のホテルで、各部屋に電話も備え付けられた。やがて、パブロ・ピカソ、サルバドール・ダリなどの著名



レストラン「La Rotonda Restaurant」では、ディナーの時間帯はピアノの生演奏が入る



ブレックファストも「La Rotonda Restaurant」でビュッフェ式のスタイルで楽しめる



広東料理がメインのレストラン「Asia Gallery」エントランス



「Asia Gallery」店内奥には日本料理のコーナーがあり寿司カウンターも備えている



メインバー「1912 Museo Bar」はヘミングウェイやサルバドール・ダリが通ったバーとして有名で、ヘミングウェイの小説「陽はまた昇る」の中にこのバーが出てくる



各階のエレベーターホールはゴージャスなソファーセットが置かれている

人を迎え、黄金期を迎えることになる。

ウェスティンパレスで特筆されるのはロビーにあるステンドグラスの壮麗なドームであろう。有名なこの空間は、ドームの下に“楕円形”という意味のレストラン「La Rotonda Restaurant」を持ち、ディナーはピアノの生演奏を聴きながら、朝食はビュッフェ式のスタイルで楽しめる。今回は約95㎡の広さを誇る「Executive Suite with Views」を紹介したい。シャンデリアが煌めく華麗なリビングからカスティージョ広場の噴水やプラド美術館を望めるスイートだ。アジアンレストラン「Asia Gallery」は広東料理がメインだが、店内奥に寿司カウンターも備えてい

る。また、メインバー「1912 Museo Bar」はヘミングウェイやサルバドール・ダリが通ったバーとして有名で、ヘミングウェイの小説「陽はまた昇る」の中にこのバーが出てくる隠れた名所でもある。

ウェスティンパレスは幾多の変遷を経て、スターウッドのラグジュアリーコレクションの傘下に入り、2001年に現在のウェスティンホテル部門に移管している。1936から39年に勃発したスペイン内戦時は軍病院となり、ステンドグラスのラウンジはトップライトの自然光が常時入り込む為、手術室として使用されたという逸話が残されている。



シャンデリアが煌めく「Executive Suite with Views」の華麗なリビングルーム。ウェスティンパレス創業当時は800室というヨーロッパ最大級のホテルでもあった



「Executive Suite with Views」の華やかなベッドルーム



スイート全体の客室面積は約95㎡の広さを誇る



エレガントな玄関ホワイエ。左手にリビング、右手にベッドルームという構成だ



リビングルームから望むカスティージョ広場。正面に改装中のリッツ、右手にプラド美術館を確認できる